



東京文化プログラム

第 2 回 TURN ミーティング「TURN を検証する I」開催
平成 29 年 10 月 8 日(日)手話通訳・文字支援付き

平成 29 年 9 月 25 日
アーツカウンシル東京
(公益財団法人東京都歴史文化財団)



第 1 回 TURN ミーティング 撮影：伊藤友二

「TURN ミーティング」は、TURN を共有し、開かれた意見交換の場です。当日は、参加アーティストをはじめ、障害者支援施設やコミュニティなどの交流先メンバーなど、TURN プロジェクトの関係者が集い、それぞれの立場や視点から TURN について語り、ディスカッションします。

第 2 回目となる 10 月 8 日(日)の TURN ミーティングでは、「TURN を検証する I」と題し、平成 29 年上半期に実施した「TURN フェス 3」、「TURN in BIENALSUR」を映像、写真資料、関係者のコメントなどから多角的に振り返ります。また、アーティストの藤浩志さん、キュレーターの田中みゆきさんをゲストに迎え、国内外各地で取り組む事例紹介と意見交換を通して、TURN を改めて考察していきます。

■開催概要

- ・タイトル: 第2回 TURNミーティング 「TURNを検証する I」
- ・日時: 平成29(2017)年10月8日(日) 14:00~17:30(開場13:30)
- ・会場: 東京藝術大学音楽学部 5号館401 (東京都台東区上野公園12-8)
- ・入場料: 無料 ※事前申込不要、手話通訳・文字支援付き
- ・ゲスト: 藤浩志(アーティスト、秋田公立美術大学副学長)、田中みゆき(キュレーター) ほか
- ・主催: 東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、
特定非営利活動法人 Art's Embrace
- ・監修: 日比野克彦(アーティスト、東京藝術大学美術学部長・先端芸術表現科教授)
- ・プロジェクトディレクター: 森司(アーツカウンシル東京 事業推進室 事業調整課長)
- ・コーディネーター: 奥山理子(アーツカウンシル東京、みずのき美術館キュレーター)

■当日のスケジュール

13:30	開場、受付
14:00~14:10	はじめの挨拶
14:10~14:40	第一部: TURN フェス3を振り返る
14:40~15:40	第二部: TURN in BIENALSURを振り返る
15:40~15:50	休憩
15:50~17:20	第三部: ゲストスピーチ、クロストーク、質疑応答
17:20~17:30	閉会の挨拶



ゲスト

藤浩志(ふじ・ひろし)

1960年鹿児島県生まれ、福岡県/秋田県在住

美術家/秋田公立美術大学副学長・教授

奄美大島出身の両親の影響で大島紬周辺で遊ぶ。京都市立芸術大学在学中、演劇活動に没頭した後、地域社会を舞台とした表現活動を志し、各地の現場でプロジェクト型の表現を模索。同大学院修了後、パプアニューギニア国立芸術学校に勤務し原初的表現と社会学に出会い、バブル崩壊期の再開発業者・都市計画事務所勤務を経て土地と都市を学ぶ。「地域資源・適性技術・協力関係」を活用したデモンストレーション型の美術表現により「対話と地域実験」を実践。



ゲスト

田中みゆき(たなか・みゆき)

21_21 DESIGN SIGHT、山口情報芸術センター[YCAM]、日本科学未来館にて

展覧会や公演などの企画、書籍の編集に携わったのち、フリーランス。障害を

「世界を新しく捉え直す視点」として活動を展開。障害に関する主な仕事に『骨』

展(2009年、21_21 DESIGN SIGHT)、『義足のファッションショー』『“subliminal

wave of light” otto & orabu×高木正勝 LIVE at Miraikan』(共に2014年、日本

科学未来館)、『障害(仮)』展記録冊子編集(2016年、鞆の津ミュージアム)、『国

際交流基金 障害 x パフォーミングアーツ特集 “dialogue without vision”』(2016

年、KAAT 神奈川芸術劇場)、『大いなる日常』展(2017年、ボーダレス・アートミュージアム NO-MA)、『音

で観るダンスのワークインプログレス』(2017年、KAAT 神奈川芸術劇場)など、カテゴリーにとらわれずプロ

ジェクトを企画。現在は映画『ナイトクルージング』制作中。11月には岡山で『オールライトファッションショー』を予定している。

※出演者やプログラム内容等は、変更になる場合がございます。

【TURN とは】

障害の有無、世代、性、国籍、住環境などの属性や背景の違いを超えた多様な人々の出会いと表現を生み出すアートプロジェクトです。様々な分野の機関と連携・協力してプログラムを展開していくことで、一人ひとりが異なる“その人らしさ”を尊重できる関係性のある豊かな社会の創造を目指しています。そして、日本における新しいダイバーシティの試みとして国内外へ発信するとともに、TURN の考え方や仕組み、場をレガシーとして継承していきます。

●アーツカウンシル東京

世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組みます。また、2020 年に向けて、文化プログラムを牽引するプロジェクトを展開しています。

<http://www.artscouncil-tokyo.jp>



<本リリースに関するお問い合わせ>

アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）広報担当：森（隆）、圓城寺
TEL : 03-6256-8432 E-mail : press@artscouncil-tokyo.jp